

## 平成30年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	28	学校名(課程)	上田千曲高等学校(定時制)通信制
------	----	---------	------------------

## 1 目標

- 社会人・地域人・家庭人として自立して生きる力を身につける。
- 全職員が、あらゆる学校教育活動において生徒に目標を持たせ、将来を見据えた指導・活動となるようにする。

## 2 現状・課題

多様な生き立ち・家庭環境で育った生徒や発達障害を有する生徒が在籍し、まとまった学習集団とは言えない。教科の学習において理解や定着が難しく、キャリア教育についても同様のことが言える。各学年とも少人数であり教員の目が届きやすいこと、合理的配慮の有効性を活かして一人ひとりの成長につながるキャリア教育を目指していくことが課題である。

## 3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を含める。学校で言い換えた力でもよい

- a 自分の持っている特徴(発達障害等を含む)や適性等を理解し、自己コントロールできる力。  
(自己理解・自己管理能力の育成)
- b 対人関係において相互の理解に努め、協調して様々な学習活動等に参加できる力。  
(人間関係形成・社会形成能力の育成)
- c 困難にぶつかった時に、教員・仲間・家族に相談するなど、課題解決に向かう力。  
(人間関係形成・社会形成能力の育成、課題対応能力の育成)
- d 社会人として・地域人として・家庭人として自立していくために将来設計し、それに向かって行動する力。  
(課題対応能力の育成、キャリアプランニング能力の育成)

## 4 内容

指導項目	指導方針(対応する項目)
①自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する。	ア 生活体験発表文作成と発表に生徒全員が取り組み、自分の過去・現在・将来を見つめさせると共に、全校の前で発表し合うことで仲間の理解を深めさせる。
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む。	イ 対人関係において相互の理解に努め、一緒に協力して諸活動を行わせる。 ウ 自分の持っている特徴(発達障害等を含む)や適性等を理解し、自己分析と自己コントロールを図れる能力を身につけさせる。
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促し、将来の職業を考える。	エ 困難にぶつかった時に、教員や仲間に相談するなど、課題解決に挑戦させる。
④卒業後の進路を選択し、実現を目指す。	オ 卒業後の人生を考え、社会人・地域人・家庭人として自立するために必要な知識や行動を身につけさせる。

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等(実施学年)
教科の授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科目の学習活動の中で基礎学力の定着を目指す。学習集団が少人数であることを活かし、ソーシャルスキルの向上を図り進路実現に結びつく指導を行う。(1~4年)</li> <li>・機械科専門科目等においては、工業技術が果たす社会への役割を知る。(1~4年)</li> <li>・自らの力で課題解決ができ、集団活動に参画できる能力を各教科の中で涵養する。(1~4年)</li> </ul>
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4学年で3単位の課題研究をもってこれに充てる。</li> <li>・各自・グループごとのテーマを決定し研究および制作をする。</li> <li>・1月に全校生徒の前で成果を発表しプレゼンテーション能力の向上を図る。</li> <li>・1~3年は、発表会に参加し自らの研究テーマ決定・工業技術への興味関心を高める。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人・専門家を講師としたソーシャルスキル向上講話・キャリア講話(1~4年) (ジョブカフェ信州の講師派遣事業の利用)</li> <li>・生活体験発表文の作成や発表会の実施、生徒会誌「雑草」の制作(1~4年)</li> </ul>
校外の体験活動(就業体験活動等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労していない生徒に対する助言・指導を行う。(1~4年)・現在の就労率約80%</li> <li>・校外研修(企業見学等)(1~4年)</li> <li>・企業見学会・会社訪問(4年)</li> </ul>

地域や産業界等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械科の学習活動としての企業見学(1~4年)</li> <li>・定時制振興会会員会社訪問をしながら、未就労生徒への就労支援の連携(1~4年)</li> <li>・五者懇談会(地元企業・保護者・教職員・卒業生・在校生)の実施</li> <li>・国家資格 技能検定の受検指導と地元企業の技術者による追加指導・評価(1~4年の希望者)</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任との個人面談、保護者との懇談を通して自己評価・相互評価を実施(1~4年)</li> <li>・就業先からの評価・自己評価(1~4年)</li> <li>・各種講話の感想文の評価(1~4年)</li> <li>・各種見学会への出席による評価・自己評価(1~4年)</li> <li>・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用</li> <li>・五者懇談会(地元企業・保護者・教職員・卒業生・在校生)における地元企業・保護者による学校評価</li> <li>・学校評議員会での学校評価</li> </ul>
中学校との連携 (指導の継続性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の連絡会や各種会議等での意見交換を行い、情報を共有して生徒指導に活かす。</li> <li>・本校の体験入学、学校見学会への参加を呼びかけ、本校定時制を理解してもらう。</li> <li>・中学校訪問により本校の定時制の理解をしてもらう。</li> </ul>
校内の推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員連絡会を毎日2回実施し、職員間の連携を図りキャリア教育の計画に反映する。</li> <li>・進路(キャリア教育)係を中心に、生徒の実情に合ったキャリア教育を計画する。</li> <li>・定時制教育振興会、就労先と連携を図る。</li> </ul>

## 5 学年別指導計画

	1 年	2 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定時制の生活リズムを整える。</li> <li>○高校生活の目標を作る。</li> <li>○昼間の就労先を研究する。</li> <li>○自分の特徴(性格・適性)について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会での自分のあり方を考える。</li> <li>○自分の仕事(係・生徒会等)を、責任を持って行う。</li> <li>○自分の特徴(性格、適性等)を知り、相手(クラスの仲間など)の人柄や感情を理解する。</li> </ul>
主 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オリエンテーション時の指導</li> <li>○ソーシャルスキル向上の講演・講話・実技</li> <li>○校外研修(地区外企業視察)</li> <li>○校外学習(地域関連企業視察・ものづくりの現場見学)</li> <li>○就労支援</li> <li>○各授業時の各授業担当者による指導・助言</li> <li>○給食・清掃時での担任および副担任等による指導・助言</li> <li>○各種大会や行事における積極的取り組みへの指導・助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ソーシャルスキルの講演・講話・実技</li> <li>○校外研修(地区外企業視察)</li> <li>○校外学習(地域関連企業視察・ものづくりの現場見学)</li> <li>○就労支援</li> <li>○各授業時の各授業担当者による指導・助言</li> <li>○「工業技術が担う社会での役割を学習</li> <li>○給食・清掃時での担任および副担任等による指導・助言</li> <li>○各種大会や行事における積極的取り組みへの指導・助言</li> </ul>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒意識調査(県教委)</li> <li>・ソーシャルスキル向上の講話実施後の自己評価・相互評価を実施</li> <li>・五者懇談会による就業先からの評価・自己評価</li> <li>・各種講話の感想文の評価</li> <li>・各種見学会への出席による評価・自己評価</li> <li>・生徒の取り組みや理解、変化等を全職員が観察し共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒意識調査(県教委)</li> <li>・ソーシャルスキル向上の講話実施後の自己評価・相互評価を実施</li> <li>・五者懇談会による就業先からの評価・自己評価</li> <li>・各種講話の感想文の評価</li> <li>・各種見学会への出席による評価・自己評価</li> <li>・生徒の取り組みや理解、変化等を全職員が観察し共有</li> </ul>

	3 年	4 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路目標や卒業後の社会での自分の役割を考える。</li> <li>○定時制高校を卒業した後、自立して生きていける力を身につける。</li> <li>○仲間と協力して何かを実現する力を身につける。</li> <li>○ものづくりの現場の実践や企業の社会貢献を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のライフプランを作り上げる。</li> <li>○社会で、自立していける手段を手に入れる。 (進路希望の実現)</li> <li>○専門教科を学ぶものとしての学習の成果を発表する。</li> <li>○生徒会活動(文化祭等)で成果を残す。</li> <li>○後輩に進路実現までのアドバイスを伝える。</li> </ul>
主 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ソーシャルスキル向上の講演・講話・実技</li> <li>○校外研修(地区外企業視察)</li> <li>○校外学習(地域関連企業視察・ものづくりの現場を見る)</li> <li>○就労支援</li> <li>○各授業時における各授業担当者による適宜助言指導・アドバイス等</li> <li>○給食・清掃時での担任および副担任等による指導・助言</li> <li>○各種大会や行事における積極的取り組みへの指導・助言</li> <li>○授業時における社会人意識の啓発と就労意識の涵養</li> <li>○4年次の課題研究のテーマについて考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ソーシャルスキル向上の講演・講話・実技</li> <li>○地元企業見学等による職業理解</li> <li>○進路指導(就職・進学 面接練習・作文指導)</li> <li>○校外研修(地区外企業視察)</li> <li>○校外学習(地域関連企業視察・ものづくりの現場を見る)</li> <li>○各授業時における各授業担当者による指導・助言</li> <li>○給食・清掃時での担任および副担任等による指導・助言</li> <li>○各種大会や行事における積極的取り組みへの指導・助言</li> <li>○授業時における社会人意識の啓発と就労意識の涵養</li> <li>○課題研究において各自のテーマによる製作・研究と発表会を実施</li> </ul>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルスキル向上の講話実施後の自己評価・相互評価を実施</li> <li>・五者懇談会による就業先からの評価・自己評価</li> <li>・各種講話の感想文の評価</li> <li>・各種見学会への出席による評価・自己評価</li> <li>・生徒意識調査(県教委)</li> <li>・生徒の取り組みや理解、変化等を全職員が観察し共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルスキル向上の講話実施後の自己評価・相互評価を実施</li> <li>・五者懇談会による就業先からの評価・自己評価</li> <li>・各種講話の感想文の評価</li> <li>・各種見学会への出席による評価・自己評価</li> <li>・生徒意識調査(県教委)</li> <li>・生徒の取り組みや理解、変化等を全職員が観察し共有</li> </ul>

### 年間指導計画と各取組の関連

\*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な学習の時間	特 別 活 動	その他(面接・評価等)
1 年	4 基礎学力の確認(国語数学等)	(4年 課題研究で代替)	入学後オリエンテーション (学校生活におけるマナー等)	・担当者からの報告連絡・それに基づく評価
	7文化祭に向けての専門科目による発表準備指導		5 東信体育大会 生活実態調査 6 クラスマッチ 五者懇談卒業生講話 7 文化祭参加	・担任による面接実施 ・感想文を評価 ・実習として評価
	通年 専門教科による工業技術と社会との関連学習			・担任による面接実施
	夏期休業 生活体験文の作成指導			
	9 生活体験発表の作文作成 12 パソコンでの文書作成学習		9 生活体験発表 10 芸術鑑賞 10 キャリア教育講演会 (ソーシャルスキル向上) □10 校外学習(ものづくり現場見学)	・審査委員評価 ・感想文を評価 ・感想文を評価 ・感想文を評価
	1 生徒会誌への文章作成		1 課題研究発表会参加 生徒会誌「雑草」文章作成	・生徒意識調査(県教委)
3 春休み		進路適性検査、 キャリア教育講演会 (ソーシャルスキル向上) 2年になるにあたって	・担任による面接指導 ・自己評価	

2 年	4 基礎学力の確認 (国語数学等)	(4年 課題研究で代替)	5 東信体育大会 6 クラスマッチ 卒業生講話 7 文化祭参加	・担当者からの報告連絡・ それに基づく評価  ・感想文を評価 ・実習として評価
	6 文化祭に向けての専門科目による発表準備指導 通年 専門教科による工業技術と社会との関連と役割の学習			
	夏期休業 生活体験文の作成指導			・企業評価・生徒自己評価
	9 生活体験発表にむけての作文作成 12 パソコンでの文書作成学習		9 生活体験発表 10 キャリア教育講演会 (ソーシャルスキル向上) 10 芸術鑑賞 10 校外学習 (ものづくり現場見学)	・審査委員評価 ・感想文を評価  ・感想文を評価 ・感想文を評価
	1 生徒会誌への文章作成		生徒会誌 「雑草」文章作成 職業適性検査	生徒意識調査(県教委) ・担任による面接指導
春休み 基礎学力確認テスト (各教科)		キャリア教育講演会 (ソーシャルスキル向上) 3年生になるにあたって	・自己評価	
3 年	4 基礎学力の確認 (国語数学等)	(4年 課題研究で代替)	5 東信体育大会 6 クラスマッチ 卒業生講話 7 文化祭参加	・担当者からの報告連絡・ それに基づく評価  ・感想文を評価 ・実習として評価
	6 文化祭に向けての専門科目による発表準備指導 通年 専門教科による工業技術と社会との関連と役割の学習			
	夏期休業 生活体験文の作成指導			・企業評価・生徒自己評価
	9 生活体験発表にむけての作文作成 12 パソコンでの文書作成学習		生活体験発表 10 キャリア教育講演会 (ソーシャルスキル向上) 10 芸術鑑賞 10 校外学習 (ものづくり現場見学)	・審査委員評価 ・感想文を評価  ・感想文を評価 ・感想文を評価
	1 生徒会誌への文章作成		1 課題研究発表会参加 職業適性検査 生徒会誌 「雑草」文章作成	生徒意識調査(県教委) ・担任による面接指導
春休み 基礎学力確認テスト (各教科)		キャリア教育講演会 (ソーシャルスキル向上) 4年生になるにあたって	・自己評価 ・感想文による評価	
4 年	4 基礎学力の確認 (国語数学等)	「課題研究」 4~5	・企業説明会 5 東信体育大会 6 クラスマッチ 卒業生講話 7 文化祭参加	・担当者からの報告連絡・ それに基づく評価 ・感想文を評価
	6 文化祭に向けての専門科目による発表準備指導 通年 専門教科による工業技術と社会との関連と役割の学習	グループ分け 研究テーマ決定 6~7 研究・制作 文化祭にて中間発表		・感想文を評価 ・実習として評価
	夏期休業 生活体験文の作成指導		・就職(進学)面接練習 ・事業所見学	・企業評価・生徒自己評価
	9 生活体験発表にむけての作文作成 12 パソコンでの文書作成学習	9~11 研究・制作 12 まとめ・発表準備	9 生活体験発表 10 キャリア教育講演会 (ソーシャルスキル向上) 10 芸術鑑賞 10 校外学習 (ものづくり現場見学)	・審査委員評価 ・感想文を評価  ・感想文を評価 ・感想文を評価
	1 生徒会誌への文章作成	1 課題研究発表会実施	1 課題研究発表会 卒業に当たって生徒会誌 「雑草」文章作成	課題研究発表会での評価 生徒意識調査(県教委)